



よ く わ か る

# フツ化物洗口

## ガイドブック



平成23年3月

鹿 児 島 県

(社)鹿児島県歯科医師会

(社)かごしま口腔保健協会



# は じ め に

歯および口腔内の健康の保持増進は、単なる食物の咀嚼(そしゃく)という面からだけでなく、食事や会話を楽しむといった、生活の質の向上という観点からも重要です。

う蝕(うしょく：むし歯)、歯周疾患は、食生活や社会生活に支障をきたすばかりでなく、重症の歯周病は、低体重児の出生、感染性心内膜炎、動脈硬化等との関連が報告されており、全身の健康にも影響を与えるといわれるなど、まさに、「口は健康の入り口=健口」です。

鹿児島県では、80歳で噛める自分の歯を20本以上保持する、いわゆる「8020」達成を最終目標に、各ライフステージごとに各種の歯科保健対策を進めているところです。

その結果、乳幼児期の歯科保健指標は年々改善してきています。しかしながら、全国平均と比較すると、まだまだ下位に位置しており、県民の保健上の大きな課題となっています。

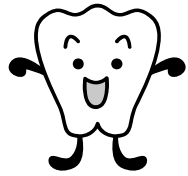
また、乳幼児期は、う蝕予防のための歯口清掃や食習慣などの基本的歯科保健習慣を身につける時期として非常に重要であり、生涯を通じた歯の健康づくりに対する波及効果も高い時期でもあります。

そこで、鹿児島県では、乳幼児期のう蝕予防の有効な手段であるフッ化物洗口の普及・啓発を図るため、平成20年度から「フッ化物洗口モデル事業」に取り組んできました。3年間の事業であるため、歯科保健指標への反映は今後を待たなければなりません。御協力いただいた保育園からは、園児の生活習慣の改善や保護者・職員の歯科保健についての関心と理解の高まりが報告されています。

このガイドブックは、3年間の取組を踏まえ、社団法人鹿児島県歯科医師会、社団法人かごしま口腔保健協会、社団法人鹿児島県薬剤師会、社団法人鹿児島県保育園連合会、鹿児島大学の協力のもと作成されました。

皆様の御協力に深く感謝するとともに、今後このガイドブックが歯科保健のみならず健康づくりのきっかけとして多くの方々に活用されることを願ってやみません。

鹿児島県保健福祉部長 西中須 浩 一  
社団法人鹿児島県歯科医師会長 森 原 久 樹  
社団法人かごしま口腔保健協会会長 森 原 久 樹



# フッ化物洗口ガイドブック

## 目次

### ① フッ化物の基礎知識

1 むし歯の原因	1
2 むし歯の発生	2
3 むし歯の予防	3
4 フッ化物の利用	5

### ② フッ化物洗口の実際

1 フッ化物洗口の事前準備	8
2 フッ化物洗口に必要な薬剤・器材	12
3 フッ化物洗口にかかる経費について	14
4 フッ化物洗口の手順について	15
5 フッ化物洗口を継続していくために	17

### ③ フッ化物洗口 Q&A

18

### ④ フッ化物洗口に関する資料・書式(例)

1 フッ化物洗口器材準備リスト	20
2 フッ化物洗口希望調査票	21
3 フッ化物洗口指示書	22
フッ化物洗口剤出納簿	26
厚生労働省 フッ化物洗口ガイドライン	27
参考文献	30